

やすらぎ

富良野協会病院広報誌 平成25年秋冬 第29号



H25.7.29 職員玄関前にて へそ祭り



H25.9.24 8F 日だまり病棟デイリールーム スコップ三味線

去る7月28, 29日北海へそ祭りが開催されました。当院も毎年参加しているこの大会、今年で43回を数えました。他団体の踊りも交えていろいろ写真を紹介します。踊っている最中の囃腹組は誰が誰だかわからないですよ。



綺麗どころ？



市役所



富良野弥栄太鼓



書くまでもない？



後ろ向いてるのは・・・



お子さんも参加



顔がわかるのがこれだけ



誰でしょう？

平成 25 年度第 4 回日本 DMAT 隊員養成研修に参加して

外科主任部長 藤原 康博

8月18日～21日(17日出発4泊5日)石川外来師長、竹下看護師、鶴見薬剤師、井戸医事課係長、私の5名で東京都立川市の災害医療センターにて日本DMAT隊員養成研修を受けて参りました。DMATとは、阪神淡路大震災で後に問題となった、十分な医療も受けられずに死亡した、いわゆる「防ぎ得る死」(約500名と言われていています)を減らすことを目標として平成17年に厚生労働省によって発足された制度です。災害時に被災地に迅速に駆けつけ、救急治療を行うための訓練を受けた医療チームで、知事の依頼により所属医療機関の院長の命に従い出動します。研修は4日間(計30時間)におよび76名の講師と多数のボランティアが受講生8チーム(40名)+個人参加22名をみっちり鍛えてくれます。

概要は

1日目、2日目：講義約10コマ(実習、机上シミュレーションを含む)

3日目：午前には恐怖の筆記試験&実技試験!、午後から講義5コマと実践訓練1コマの後に合格発表、お楽しみの懇親会(別名：夜のDMAT)

4日目：トドメの実践訓練 2コマ+講義 1コマ

朝8時頃から18時過ぎまで缶詰め状態!肉体的にも精神的にも、かなりハードな日程でした・・・はつきり言って研修会というよりBoot Campです!(古いか・・・)

今年3月に策定された北海道災害医療計画の中に各災害拠点病院がDMATチームを保有する事が盛り込まれており国からも対策費用の半額が補助されることになったため急遽依頼され(ギョウムメイレイとも言う・・・)、渋々の参加でしたが何とか無事全員一発合格となりました。

が、富良野に帰って翌日から通常勤務を再開しましたがダメージ引きずりまくり・・・

しかも物品購入の補助申請が期限間近である事が発覚!他施設の友人に頼み見積書を入手し購入物品をリストアップし期限を延長してもらってやっと申請を済ませすべて認可され本年度内になんとか装備をそろえて出動可能になります。

実は必要物品のほとんどを借り物で参加した我がチーム・・・、他のチームはバッチリDMATユニフォームを揃えており夜のDMATの際には同情されちゃいました・・・

災害医療なんて何だかトンデモナク大変なイメージを持たれるかもしれませんが、キモは現場で決着をつけられない患者を的確に選別し的確な搬送先を決定し搬送先まで安定した状態を維持できるようにすることです。ですから実際は当院の救急外来でのお仕事とほとんど変わりありません。

1チームギリギリの人員ではなかなか実際に出動する事が困難だと思いますので入隊?を希望される方は我々にお声掛け下さい!(食費を含めて費用は全額病院持ちですよ～)



DMAT 研修報告会にて

褥瘡対策委員会のご紹介

管理栄養士 安田美奈

当院の褥瘡対策委員会は整形外科田中先生、皮膚排泄ケア認定看護師の吉田師長を中心に、各部門看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、事務職員、管理栄養士で構成されています。2週に1回の褥瘡回診をはじめ、症例検討会や研修会の開催など精力的に活動をしています。

管理栄養士としては各患者さんの必要エネルギー量の算出や過不足の確認、栄養補助食品の選定や提案などで関わりをもっています。患者様には「少しでも多く食事を食べていただきたい。」という気持ちで接しています。今後、栄養状態が低下している患者様に関してはNSTとの連携をもちながら介入していけたらと考えています。

褥瘡の発生率を下げるためには予防的ケアの徹底が大切です。患者さまのため皆で取り組んでいきましょう。



院内勉強会報告

「感染症治療、常在菌、培養検体の基礎知識」と題して以前当院に勤務していた旭川医科大学 救急科/第2外科 松坂俊先生をお招きしてICT主催の勉強会が9月26日にあり、60名の参加がありました。感染症別の対応や緊急時の抗生剤のあり方、培養検体の取り方、時期などわかりやすく講義していただきました。この勉強会がさらなる感染対策に生かされるようICTの活動にも引き続き力を入れていきます。皆様ご協力よろしくお願ひします。



今年もゴルフコンペが2回行われました。院長杯はあいにくの雷雨で下が、盛況に終わりました。今年は小山内先生が強かったですね。

第30回院内コンペ H25.6.2 (サホロ)



優勝：小山内先生



準優勝：角谷先生

第24回院長杯 H25.8.25 (オリカ)



優勝：佐々木晴子

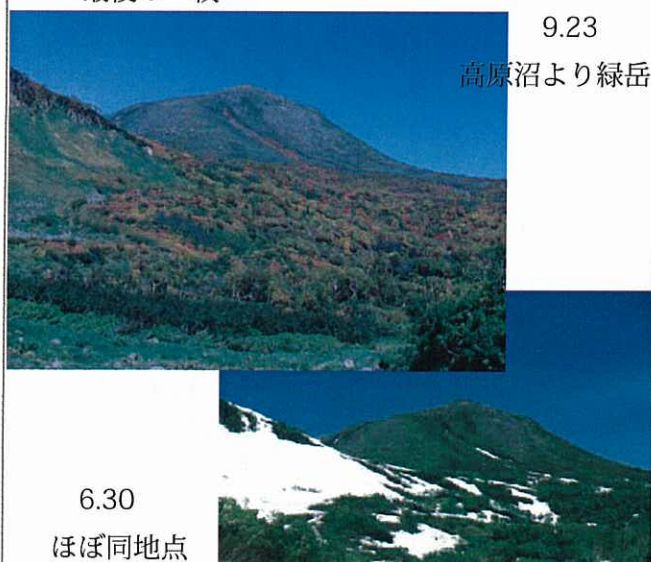


準優勝：小山内先生

院内勉強会等 予定表

日時	テーマ	講師及び演者	企画	参加者数
2013.02.12	院内研究発表会		職場改善委員会	
2013.05.13	腸内環境とビフィズス菌について	森永乳業グループ病態栄養部門 (株) クリニコ 稲田 麻菜美 氏	NST 委員会	
2013.06.11, 06.24	接遇研修会	(株) ファイザー製薬学術支援部 担当マネージャー 吉川 修氏	サービス向上委員会	
2013.09.26	感染症治療、常在菌、培養検体の基礎知識	旭川医科大学 松坂 俊	ICT	
2013.10.11	DMAT 研修会報告会			
2013.10.24 11.21	コーチングセミナー			
2013.11.29	「実例から学ぶ暴言・暴力への対応」	第一三共株式会社	医療安全管理委員会	
2013.12.2	「摂食・嚥下障害の基礎と『口から安全に食べるために』」	味の素ニュートリション株式会社	NST 委員会	

最後の一枚



何だか同じ場所を季節を変えて撮影する事になってしまった写真です。初夏に高原温泉に沼巡りに行き、紅葉時期にもう一度行きました。本当は3回行ってますが・・・

編集後記

- そろそろ寒くなってきました。インフルエンザにも注意して今年いっぱい元気に頑張りましょう。《白ヒゲ》
- もうすぐライダーから、ウォーカーに変身します《検査員13号》
- どうでしょうの新作が楽しくてしょうがない《神》
- この歳になると、乾燥肌がすごく気になります。《ツラ》
- 最近、喉がかゆくなる現象に襲われています(汗)《下っ端部員》
- 寒くなってきたので温泉に行きたい季節になりましたね。《クラーケT》
- 今回も何もせず・・・スミマセン《MOT》
- おでんとお鍋の季節♡食欲の秋は終わらず継続中(-.-;《なでしこ5》
- 寒くなって来ました!! 朝、布団から出たくない季節になりました(>.<)《DCHS》
- もうすぐ厳しい冬の始まりですね。早く春になりますように!!《ナナコ》

富良野協会病院広報誌
やすらぎ 第29号
発行人 羽根田 俊
編集 富良野協会病院広報ホームページ編集委員会
発行日 平成25年11月